

## 会議の結果

件名	令和元年度第3回社会教育委員会議定例会
日時	令和元年9月26日（木曜日） 午後2時～4時35分
場所	本宮行政局 3階大会議室
出席者	<p>○社会教育委員 山崎委員、井瀬委員、久保委員、松場委員、近藤委員、西川委員、 柳川委員、九鬼委員、三宅委員、加藤委員、稲垣委員 計11名 (欠席) 尾崎委員、小山委員</p> <p>○事務局 宮崎教育次長、狼谷生涯学習課長、北尾生涯学習推進係長、尾崎公民館係長、 瀧本社会人権教育指導員、野口事務員、澤本事務員 計8名</p>

### 1. 教育次長あいさつ

### 2. 議長あいさつ

### 3. 説明事項・報告事項

- (1) 令和元年田辺市生涯学習振興大会について
- (2) 令和元年度「成人の日」記念式典について
- (3) 令和元年度情報モラル研修会について
- (4) 令和元年度 第22回西牟婁地方ドッジボール大会等の結果について
- (5) 第15回市民スポーツレクリエーション祭について
- (6) 第43回市民体育祭実施結果について
- (7) 植芝盛平翁没後50周年記念事業「植芝盛平翁の故郷を訪ねて」について
- (8) 第54回月例展 熊楠とゆかりの人びと第37回「北島脩一郎」展について
- (9) 第66回田辺市美術展覧会について
- (10) 田辺市文化事業 山下泰資 チェロリサイタルについて
- (11) 田辺市文化事業 関西弦楽四重奏団&豊嶋泰嗣  
ブラームス弦楽五重奏全曲演奏会について

以上の項目について、事務局から一括して説明を行った。質疑応答における質問・意見等はなかった。

### 4. 協議

- (1) 人材育成講座「まちづくり市民カレッジ+（プラス）」について、事務局より説明を行った。

#### 【質疑応答・主な意見】

(議長)

今、事務局から人材育成講座「まちづくり市民カレッジ+（プラス）」について3点併せて説明がありましたが、こちらにつきまして何か、ご意見ご質問等ございませんでしょうか。

私も副議長も都合でどうしても出席できなく、議長・副議長欠席という形になりますが、D委員に進行をお願いしていますので、皆さまもご協力よろしくお願ひします。

田辺高校への高校出張講座という事で、初めてさせていただいたのですが、それについてもご感想等ございま

したらお聞かせください。生徒さん達が通常と違い先生方から教わるのではなく普通の市民の方から話を聞く機会というのは、いきいきした感じでメモも取っていただいていたし、本当によかったかなという風を感じています。

(A委員)

講師の方がすごくお話が上手で、滑らかに話をされていて、私も話し方を教えてもらいたいくらいでした。高校生については、後で感想文を見せてもらったら本当にこういう企画をしてよかったなと思います。単に都会に憧れるだけじゃなくて、都会からこちらに引っ越してきて両方知っている方のお話を聞いて、都会の両面を比較でき、また、生の声が聴けて良かったんじゃないかと思います。アンケートには、地元愛みたいなものも高校生が書いてくれていたし、一旦外へ出ていくことも多いと思うんですけども、やっぱり将来帰ってくる、帰ってこなくても地元に着用を持っている。高校の出張講座ということで初めてでしたが、とてもいい企画だったかなと思いました。講師の方のお話は毎年続けていってほしいなと思います。

(議長)

今回、田辺高校と神島高校の2校に行かせていただきましたが、学校との位置付けが、学校によっては非常に調整が難しいということも出てくるので、学校としては、生涯学習課が企画して学校に持ってくるものを授業として捉えるのは非常に難しい。そういうこともあるので、これから進めるにあたって、十分学校との協議、学校に理解をいただくことも進めていこうと企画会議の中で話が出ていました。そのことについて定例会の方で皆さんにお話できるかと思ひます。またいろいろと参考になることとかありましたら教えていただければと思ひますので併せてよろしくお願ひいたします。

(B委員)

高校生は神島高校や田辺高校を対象に実施していますが、中学生まで下ろしてこなかったのは意味があるんですか。

(議長)

最初は中学生も案としてはあったのですが、まず高校生が実施しやすいという部分はあったと思ひます。市民カレッジ+ (プラス) の講座の中に、学生さんたちにも来てもらおうという目的をもって始めたんですけども、急に中学生という義務教育の中に入っていくと、先生がついてきたり、講座に来るまでの間の責任問題が出てきたりというのが最近多々あるので難しいだろうと。高校生だったら自転車で来られるんじゃないかという意味合いも最初あったのですが、最終的には学年を下げっていくというのは、これからの目標として入っています。先に高校生がターゲットにはなったんですが、これから外に出ていく、出ていった人がまた戻ってきてもらえる可能性があるというも踏まえて、高校生というのが一番身近にあったというのがあります。

(B委員)

安全管理とかそういうことであれば、自転車で各自来することも意味リスクではありますし、そういう中で中学生は集団行動の中での先生方の見守りがありますから、それぞれの学年とか年齢層の中にリスクがあると思ひます。それはそれで大人なり先生がサポートしていけばいいことじゃないかなという風に思ひのと、中学生や小学生の子の保護者である中島さん、金丸さんみたいな方のお話を聞かせることをあてはめると、まずマッチしないと思ひます。ということは年齢層にあわせてスピーカーを選ばばいいのであって、そこであえて縦断的に考える必要はないのではないかなというの、いろいろな公民館活動をやっている中で、学社融合があるじゃないですか。学社融合の中で保育所を切っているのが抵抗あるんです。保育所の段階で一緒になって中学校のお兄ちゃんお姉ちゃん、その中で集団行動っていう子供なりの位置づけていうのが家庭っていう別のところであったと思ひます。スピーカーさん選んだら僕は高校生だろうが中学生だろうが良いと思ひます。

(A委員)

人材育成講座っていうのは、地域づくりのメインになる人を増やしていきたいとかそういう目的があったと思ひ

うんです。これまでは成人の方でずっと続けてきて、高齢の方が多かったりっていう部分があったり、じゃあもうちょっと若い方に来てほしいよねという話もあって、今回初めて高校生をターゲットにしてみようということになったんですね。今までは高校生を対象にあまりしていなかったけれど、若い人を取り込んで、田辺の地域のことでも考えてもらおうよ、担ってくれる人を育てていこうよ、ということで今年初めてこういう形をとって、やっと高校生にまで対象を広げることができたと思いますし、一歩ずつ対象を広げていくことになると思うんですね。先ほども言いましたように、初めて高校生を対象に講座をしてよかったと思います。すごくプラス面もあったけれども、もう少し変えてもいいかなという部分もあったんで、それはPDCAと一緒に、次のステップへ行ったらいいと思うんです。今回初めての企画で、前は講演だけだったので、高校生も対象になってないですし、それで一年間やってきて結局来る方は同じじゃないですか。熱心な方には本当によく参加していただきましたけど、その中で高校生が一番要になって、高校生から攻めていこうかということで始まったのと、田辺市の取り組みで、南紀みらい株式会社があって、一生懸命田辺市の駅前も活性化、例えば「 트레이ナート」だったりいろいろしていますけれど、去年、一昨年くらいから種をまきだしたのかなと思います。そんな中で中島さんと金丸さんという方が移住されてきて、地元の人じゃなくて移住してきた方のお力を借りて、田辺市民が田辺を好きでないと帰ってこないから、魅力を知っている方、私たちが気づかない部分の議論をしてもらおうという中で、期待できるのが高校生っていうのかな。幼稚園とか小学校って夢はありますけれど、やっぱり話が机上の空論になってしまうので、とりあえず高校生の方に聞いていただいて、それを広げていく。なかなか義務教育では難しいという部分もあるのかなという中で、今は高校生の中で模索している段階かなと私は思います。とりあえず、市民カレッジを続けて、定番にして、田辺市民の方に知ってもらえるようにする、ということで始まったと思います。金丸さんが前に立って話をして、後ろで一生懸命高校生がメモをしているのを見たら、これが人材育成だなと思いましたし、結果は小さいものであるかもしれないけれど、来年に向けて、そういうご意見やアイデアを検討していけたらと思います。

#### (C委員)

先ほどからのお話しをお聞きして、学校の現場としてのお話しなんですけれど、学校との交渉が難しいというお話があった中で、学校現場は本当に忙しくて、学校に税金や防災の話、どうですかという話はたくさんあるんですけれども、一つひとつは大事なことなんです、それを全部こなしてたら、国語や算数の時間数は決まっていますので、それができない状況になるんです。そういう大変さはあるという状況は知っていただきたいなと思います。それと同時に、幼稚園・小学校・中学校は、田辺市では学社融合を熱心に行っていますので、ふるさと学習はもうどの学校もやっているんです。でするので、直接的にこういうお話しじゃなくても、既に学校でやっているということは知っておいていただきたいと思います。

#### (議長)

このまちづくり市民カレッジ+（プラス）、PDCAサイクルの中で、今まで続けてきたものを検討しながら一歩一歩変えていっているという、発展途上の講座になっておりますので、井瀬さんが仰った、ここはどうか、というような意見も踏まえて皆さんからご意見いただけたら、もっと良くなっていくと思いますし、また、山崎先生が言われたように、学校の現状を教えていただけるというのはすごくありがたいので、それを踏まえないと、一方的な企画になってしまう可能性がかなり高いので、子供達も含めて、地域が一体になって育てる、そういうような市民カレッジ+、育成講座にしていきたいなと思いますので、これからも皆さんのご意見いただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。

「(2) 令和元年度伊都地方、田辺西牟婁地方、那賀地方社会教育委員連絡協議会合同研修会について」及び「(3) 令和元年度和歌山県社会教育研究大会について」を事務局より一括して説明を行った。質疑及び意見はなかった。

#### (4) その他

##### (A委員)

11月の月上旬に、年に一回の美術館の協議会がありますので、美術館についての要望等ありましたら、当日持っていくしますので、お願いしたいと思います。

##### (D委員)

何年か前は、絵本の展示とかもあったんですけど、去年くらいから、そういうものがないなど。日本画が多いような気がするので、絵本の挿絵とかがあればいいかなと思います。小学生も、割と日本画や洋画などの「芸術」には取っ掛かりにくいのかなと思いますので、水彩画とか、油絵とかも、絵本の原画になっていたりするので、そういうものが入ってくると、小学生でも行きやすいかなと思います。親についていくというのがありますが、最近は大人もあまり美術館でみないですからね。

##### (A委員)

何年か前から、学生は無料ということにはなっているけれども、だからといって学生さんを見つけることは少ないですね。

##### (D委員)

前に私が行った時には、宮沢賢治さんの挿絵があって、その時には何人か子どももいたので、そういうのがあると足を運びやすいと思います。

##### (A委員)

宮沢賢治さんとか、平山郁夫さんとか、割と有名な方が来て、講師の方もきてお話してくださるとかの時は大勢来てくださるんですけども、常設展の時は少ないです。まだまだ美術館が浸透していないかなと思いますので、皆さん、招待券いただいたら、ぜひ行ってくださるようにまたよろしくお願いします。私も、美術館の敷居を低くして、みんなが行きやすいようにできないか、例えば、他の美術館でも、カフェが併設だったり、本が置いてあったりするので、せめて土日だけでもカフェしてみたらどうですか、とか、幼稚園とか小学校の絵を置いて、ついでに来てもらう、みたいな意見は言わせていただいているんですけども、博物館法に則ってであったり、他との兼ね合いがあるらしいんです。私は、一庶民として意見を言わせていただくんですけど、そういう説明があったら、仕方がないのかなと思ったり。ただ、田辺の場合、本館と中辺路と二か所ありますので、本館の方は博物館法に則った、中辺路の方はもう少し砕けた、という形で今進めていっています。

##### (D委員)

中辺路は熊野古道沿いにあるので、熊野古道関係のものを置くとか。そうすると、他から来た人でも、寄ることができるじゃないですか。

##### (A委員)

学芸員の方3人いらっしゃって、色々やってくさっているんですけど、色々兼ね合いもありまして。みんなが行ってもらえる美術館にならないともったいないので、またよろしくお願いします。

#### 5. その他

(1) A委員より、9月議会の一般質問について、質問があった。

##### (A委員)

この間紀伊民報に一般質問の記事があって、性的少数者の対応についてということで、私も2、3年前に、田辺市の場合どんな対応をされてますか、と質問したことがあるんです。今日はその議題が出るのかな、と思って

いたんですけれども、そのことについてパソコンで調べていたら、事細かに、制服や授業内容、体育など、対応が載ってあったんです。それで、制服問題も、あるところでは、ズボンとスカートを選択できるところが増えてきたりだとか、ある中学校では、LGBTについて勉強した中学生が、生徒総会で、今まで使われていなかった障がい者用のトイレに虹色のマークを使ったりだとか、色々と広がってきていますけれど、一番気になるのは、7割が自殺を考えているということなんです。なかなか、社会の理解が足りない中で、学校の先生は本当に大変だと思うんですけれども、理解していないと対応もできていないと思うので、そこらへんをまたお話して頂けたらと思います。

#### (事務局)

本日資料を持ってきておりませんので、詳細にはお答えはできないんですけれども、学校現場における性的マイノリティへの配慮というような質問項目で、何項目か質問されました。教育長からお答えしてあるんですけれども、現状について、現在田辺市の小中学校では、実際に該当する生徒の認識、把握はしてあるのかというような質問もあったんですけれども、現時点ではそれはありません。ただし、人口の3パーセントから10パーセントほどは、潜在的に該当する方々がいらっしゃるという調査も出ているということで、制服やトイレ等の配慮、それから先生方の研修等については、しっかりとやっていきますという形で答弁をしています。今、手元に詳細の資料はないので、一つ一つの項目についてはお答えできないんですけれども、次回の会議の中で、9月議会の一般質問の内容というような形で、話をさせてもらおうと思いますので、よろしくお願ひします。

(2) 会議当日出席の委員による1分間スピーチが行われた。

(3) 次回定例会の日程について

次回定例会の日時は11月14日(木)、時間と場所については、後日に調整することとなった。

## 6. 閉会

副議長から閉会の挨拶を行った。